

校長室インフォメーション「あしのこ」

下野市立古山小学校
校長室通信
平成27年度 NO.2
平成27年5月29日
発行責任者 阿嶋 敬一

平成27年度「大運動会」が盛大に行われました。



5月23日(土)

さわやかな晴天に恵まれ、多数のご来賓のご列席の下、平成27年度「大運動会」が挙行されました。今年度の結果は紅組が総合優勝、白組が準優勝、紅白対抗リレーでは男子の部が白組が優勝、女子の部は紅組が優勝でした。全力でがんばった両チームに「おめでとう」と「よくやったぞ!」を贈ります。

さて、私にとっては校長として初めての古山小学校の運動会でした。たくさんのかんじましたが、特によかったと思ったことは次のとおりです。

- ・前日準備や当日の駐車場の管理、後片付けなど、たくさんのPTAの皆様が熱心に主体的に動いていただきました。おかげでトラブルもなく安心・安全な運動会になりました。
- ・児童全員が、与えられた係活動などに手を抜くことなく意欲的に取り組んでいました。また、長期間に渡る練習でも気温が高い中、真剣に取り組む姿が見られました。
- ・当日の演技においても、児童は本気で走り、跳び、表現をしていました。どの種目も安心して見ていられるほど質の高い演技になったと思っています。特に6年生は、小学校最後の運動会ということで、練習の段階から下級生をリードし持てる力を十分に発揮していました。
- ・応援団が素晴らしかった。応援団長のリーダーシップに拍手です。また応援に参加したそれぞれのチームの児童も大きな声でできていました。開会式の応援歌も迫力がありました。
- ・入退場や演技中のBGM(バックグラウンドミュージック)の選曲がたいへん効果的であり、児童の演技とともに心が躍りました。私にとって懐かしい音楽もあり楽しい時間を過ごすことができました。
- ・閉会式の後、ご来場の皆様にご感謝の気持ちを込めてトラック一周の行進をしましたが、たくさんの方が最後まで残っていただき、たくさんの拍手をもらいました。児童も達成感を感じたことと思います。



(紅組の応援)



(紅組団長)



(白組団長)



(白組の応援)

走りぬけ 勝利の女神は すぐそこに



(3・4年がんばらナイト)



(1・2年 奏でる!スペースヒーローズ)



(5・6年 よさこいソーラン)



(PTAアジャタ)
123年、456年で予選を行い、決勝には3年と6年のチームが出場しました。結果は、優勝が3年チーム、2位が教職員チームでした。お疲れ様でした。



今年度の教職員のスタッフシャツのバックプリントです。本校の美術専門の教員がデザインしました。今後とも継続して使用していきます。



(一輪車による交通安全パレード)



(3・4年 豆台風2015)



(1・2年 大玉ゴロゴロ)



(紅白対抗リレー女子 優勝 紅)



(紅白対抗リレー男子 優勝 白)



(5・6年 初夏の陣 騎馬戦)

大運動会の開会式・閉会式で話したこと

開会式のあいさつ：児童の皆さん、今年度の運動会のスローガンは、「走りぬけ 勝利の女神は すぐそこに」です。1年生から6年生までが協力して、練習の成果を発揮して優勝を目指して頑張ってくださいと思っています。次に校長先生から運動会を取り組む上でのお願いを2つだけお話ししたいと思います。1つ目は「最後まで、あきらめないで演技しよう。」です。運動会は、勝ち負け、1位2位などの順位が付きます。一生懸命練習してきたのに失敗してしまうことがあるかもしれません。転んでしまうこともあるでしょう。そんなときでも、上を向いて、青空をあおいで、笑顔を絶やさず、最後まであきらめないで演技をして下さいね。2つ目は「応援しよう」です。自分の演技が終わっても、お友達や他の学年の演技をよーく見て、大きな声で励ましの応援をしてあげましょう。この2つをがんばったチームに勝利の女神は微笑んでくれるでしょう。

閉会式の講評：優勝した紅組の皆さん、おめでとうございます。また、準優勝の白組の皆さん、おめでとうございます。白組も優勝と同じ価値のある態度や演技でした。どちらのチームも全力で取り組み素晴らしかったです。さて勝負が終わりました。ラグビーというスポーツでは、試合の終了を「ノーサイド」言い、試合が終わった瞬間に敵味方の区別がなくなります。そして戦いのあとはお互いの健闘をたたえ合います。児童の皆さんも「ノーサイド」の精神で勝ち負けを超えてがんばったお友達に拍手をおくりましょう。

平成27年度 学校課題について

学校では、毎年度、児童の実態等を考慮して、学校や児童を更により良くするため、また教職員の資質・能力の向上を目指して、「学校課題」というものを設定して研究を推進しています。今年度は以下のように設定しました。日々の授業や授業研究会を通して課題解明に努力していきます。

研究主題：表現・コミュニケーション能力の育成をめざして ～言語活動の充実と、学び合う授業づくりを通して(4)～

めざす子ども像：「自分の考えたことを言葉で伝えられる子ども」
具体的な手立て

- A：学び合う授業（考えを出し合い深めたり広げたりする授業）
- B：考えを表現する力（豊かな言語感覚）
- C：話し方聞き方を身に付ける（話し・聞くの技能）



この学校課題（言語活動や学び合い・・・）に関連することとして、昨年度、文部科学大臣は小・中・高校などの教育の基となる「学習指導要領」を全面的に改訂するよう中央教育審議会に諮問しました。その中で大きなポイントとされているのが「何を教えるか」（児童・生徒にとっては「何を知っているか」）から「何ができるようになるか」への学力観の転換です。さらに、グローバル化や情報化が進む21世紀には知識をたくさん覚えることよりも、知識を使って異質な他者と協働して新たな価値を生み出すことの方が重要だ、という考え方の出現です。そこでは「アクティブ・ラーニング」（課題の発見と解決に向けて主体的・協働的に学ぶ学習）の検討があり、知識の一方的な教え込みから脱却し、学習者（児童・生徒）自身が課題に取り組むことを通して21世紀に必要な資質・能力を身に付けるような転換が求められているとしています。次代を担う古山小学校の児童に対しても「アクティブ・ラーニング」の考え方を基とした学習活動や資質・能力の向上を図っていききたいと思います。

児童の活動の様子や学校行事等については、学校ホームページに掲載してありますのでぜひご覧下さい。
学校HPアドレス <http://www.school.shimotsuke.ed.jp/koyama/top.htm>